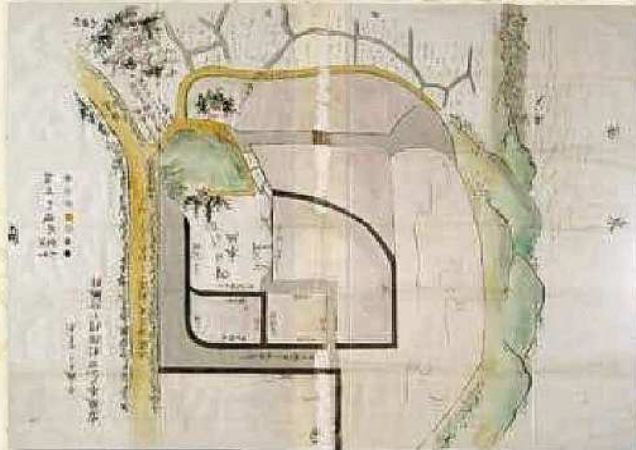


令和六年度 特別企画展

戦国時代の 檜葉

Naraha in the Sengoku Period



檜葉町 × 東京大学総合研究博物館連携ミュージアム 大地とまちのタイムライン 開館一周年記念
Naraha UMUT Collaborative Museum A Timeline of the Earth and the Town 1st Anniversary Special Exhibition

2024.7/20 sat. - 11/30 sat.

前期 7/20-9/29・後期 10/1-11/30 史料保存のため、前期と後期で展示物の入れ替えを行います。
開館時間：午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日：月曜日、国民の祝日
観覧料：無料
主催：檜葉町教育委員会・東京大学総合研究博物館
事業支援：公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
【大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業】

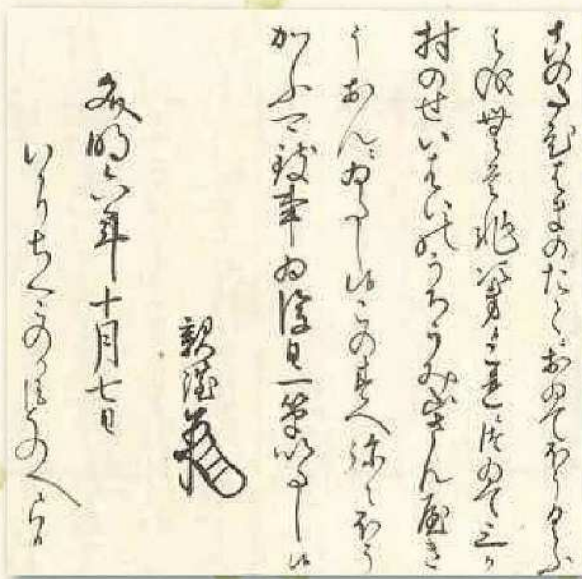
岩城本戸山田村狩野下野城跡絵図 (個人蔵「鴛鴦家文書」) 写真提供：仙台市博物館



染付(胎藏青花陶磁器) 年代:16世紀 明初 (檜葉城跡出土遺物)



鑓やり (鉄製品) 年代:不明 (井出城跡出土遺物)



岩城親降領知判物(写六) 文暦6(1474)年10月7日 猪狩筑後守宛
会津若松市立会津図書館蔵(新編会津風土記)巻六 写真提供:会津若松市

檜葉地域は岩城・相馬両氏の間位置し、戦国時代には領地の争奪戦に巻き込まれていました。激しい争いの地であったことを物語るように、町内には9つもの城館跡が残っています。本展は戦国時代に檜葉郡を領知していた猪狩家に伝わる古文書および檜葉町内の城跡から発掘された考古資料を通して、戦国時代の檜葉のすがたをご紹介します。

猪狩氏は檜葉氏攻略の戦功として、文明6(1474)年に岩城氏より檜葉郡の統治権を与えられてから、本年は550年の節目の年ともなります。猪狩家文書は戦国時代の在地領主のあり方を示唆する貴重な一次史料です。また、檜葉町内の城跡から出土した遺物を一般に公開するのは、本展が初めての機会となります。動乱の戦国時代でありながらも、城館を中心に営まれていた檜葉地域の豊かな生活の様相もあわせて考えます。



伊達政宗書状 (慶長5(1600)年) 8月24日 猪狩下野入道(守之か)宛
個人蔵「猪狩家文書」 写真提供:仙台市博物館

関連イベント

8/24(土)

13:30~15:00 記念講演会

「戦国時代の檜葉郡と岩城氏・猪狩氏」
泉田邦彦氏(石巻市博物館)

講演会共催:日本学術振興会科学研究費助成事業若手研究
「戦国期奥羽領主の権力編成と「洞」-福島浜通りと隣接地域を中心に-

10/27(日)

13:30~15:00 東大教室@檜葉

「古文書の教室:猪狩家文書にみる戦国時代の檜葉」
白石愛(東京大学総合研究博物館)



檜葉町×東京大学総合研究博物館連携ミュージアム
大地とまちのタイムライン
Naraha UMUT Collaborative Museum: A Timeline of the Earth and the Town

福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5番地の4 檜葉町コミュニティセンター1階
アクセス:JR常磐線「竜田」駅下車 徒歩20分
常磐自動車道「ならはスマートIC」より約5分
お問い合わせ:檜葉町生涯まなび課 tel. 0240-25-2492